

特定非営利活動法人
ポラリス



2020年度 事業報告
2020年4月1日～2021年3月31日

2020年度 事業報告 目次



1. 2020年度を振り返って	1
2. 障害者就労継続支援B型事業所ポラリス	2
施設外就労	3
アートワーク	4
ポラリスコーヒー	7
園芸&ピカピカ活動	8
3. 相談支援室ポラリス	9
* 令和2年度新地町障がい児者相談支援事業	10
* 令和2年度山元町障害者地域生活支援体制事業	11
4. NPO プロジェクト	
* 障害福祉のエンパワメントを進めるプロジェクト	12
* 山元町と新地町の障害福祉エンパワメント促進事業	13
* 新しい生活様式に向けたICT機器整備	14
* 中高生によるチャリティムービープロジェクト	15
* 福島県沖を震源とした地震 被災した建物改修(経過報告)	16
5. 活動報告・紹介	17
6. 応援ありがとう	20
7. 法人運営 / 組織概要	21



ポラリス



ポラリス こう・ふくアトリエ



相談支援室ポラリス

2020年度を振り返って

ポラリス設立から6年目となる2020年度は、この地域に、障害福祉をエンパワメントすることを大きなテーマとし、活動を進めてきました。そして同時に、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、「いつもの習慣作り」としてうがい・手洗い・消毒作業、そして日常的に密を避ける、不要不急の外出をしないなどに取り組み、「新しい生活様式」について、その習慣の定着を目指すことも取り組んできました。

就労継続支援B型事業ではコロナ対策をしながら、施設外就労と地域を元気にするためのボランティア活動、アートワーク、サロンでのピアサポート活動などに、コロナ対策を踏まえながらも、そういう時期だからこそできることについてきちんと取り組もうとするメンバーたちの姿がありました。一步一步、繰り返し、互いに協力し合いながら、笑顔で取り組み、自己肯定感や自己有用感を高めることにつながりました。

相談支援室ポラリスは、新地町と山元町をフィールドに活動し、特に今年度は、地域の民生委員児童委員の方々と情報交換の機会が持てました。新地町では教育(スクールソーシャルワーカー・教員)との連携が強化され、保護者も含めた支援会議でもその成果を実感しています。また様々な方に障害福祉の現状をお伝えし、理解普及のための活動を進めてきました。障害福祉の枠を越え、立場や業界を超えてつながり互いに学び合いながら、地域共生社会づくりを目指していけたらと考えます。

専門スタッフを育成するために、様々な立場・業界のみなさんから、多角的かつ多様に学ぶ機会をいただいております。そして、「福祉を学びたい」とポラリスに2年前に加わったスタッフが、社会福祉士の国家試験に合格することができました。新たな時代のソーシャルワーカーとしての活躍が楽しみです。

「新しい生活様式」やスタッフの業務効率化を目的に、ICT活用の促進にも取り組みました。近隣の小中学校でICT教育を普及させている企業の応援で、障害のある方もスタッフもICTのスキルを少しずつ習得しています。密を避け、たくさんの方と一緒に集うことがまだまだ難しい状況下ではありますが、今後、楽しくポラリスの活動を発信することにも役立てたいと思います。

2020年度もあとわずか、そして東日本大震災からもうすぐ10年になるという2021年2月13日、「福島県沖を震源とする地震」が発生しました。また被災(建物損壊)するという経験。ポラリスの建物は中も外もだいぶ壊れてしまいましたが、ポラリス一同、けが人もなくほっとしています。断水で1日お休みただけで再開することができました。いち早く支援に駆けつけてくださったり、ご厚意を届けてくださる皆さんの存在にとても勇気をいただきました。今後も感染症や自然災害等が起きることを想定し、そのような緊急事態となっても私たちが担っている活動を継続していけるような体制整備を進めてまいります。これからも持続可能なNPOであり続けられるよう、今後も一歩ずつ進んでいきたいと思ひます。

2020年度もたくさんの方との出会いや交流がありました。ありがとうございました。

2021年3月

特定非営利活動法人ポラリス
代表理事 田口ひろみ



就労継続支援B型事業所ポラリス

事業開始年月日 2020（平成27）年8月1日
利用者定員 20名
従業員数 管理者1名（相談支援事業所管理者と兼務）
 サービス管理責任者1名（常勤専従）
 職業指導員 3名（非常勤専従）
 生活指導員 1名（常勤専従）
 目標工賃達成指導員 1名（常勤専従）

通所状況

年度	開所日数(日)	利用登録者(名)	のべ利用者数(名)	1日平均利用者数(名)
2015(H27)	174	16	1,438	8.3
2016(H28)	291	22	3,006	10.3
2017(H29)	278	22	3,206	11.5
2018(H30)	284	23	3,570	12.5
2019(R 1)	269	21	3,516	13.1
2020(R 2)	259	21	3,527	13.6

	利用登録者数(名)	割合(%)
山元町	12	57.1
亘理町	6	28.6
岩沼市	2	9.5
柴田町	1	4.8
計	21	

支援の目標

- 利用者それぞれが目指す「就労」のカタチで、素敵にはたらくように。
- 感染症予防のための「いつもの習慣づくり」と体力維持・向上の心がけ、地域で安心して暮らせるように。

主な活動

- 施設外就労
- アートワーク(アトリエ活動)
- 地域を元気にする活動(ボランティア)
- 所内での作業トレーニング
- サロン活動(接客・ピアサポート活動)



町公園トイレ清掃作業 スタート



(株)GRA清掃



ポラリスコーヒー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設外就労	(株)GRA ミガキイチゴワールド (清掃・箱折り、他)											
	山元町 (つばめの杜中央公園外1施設トイレ清掃作業)											
	フレスコ(株) (ハッピーエコプラザ・資源物回収受付など)											
	(福)静和会 (みやま荘 清掃、他)											
	(一社)まちづくり山元 (ハーレー展示館の窓ふき、他)											
	称名寺 清掃											
	株式会社 称名寺 (ICT 整備補助)											
	花の店しなほり 生花の搬入・搬出											
ボランティア活動	(株)ひまわりケアシステム 風の章ガーデンの植栽&手入れ											
	花壇づくり・アートなプランター 設置場所の巡回 (水やり・手入れ)											
アートワーク	見晴 作品展示(春)	見晴 作品展示(夏)	見晴 作品展示(秋)	見晴 作品展示(冬)								
	作品制作・展示・販売 ワークショップ・アトリエ案内											
所内作業	ポラリスコーヒープロジェクト											
	事務補助・パソコン入力											
	文書発送のためのあて名書き・封入作業 所内清掃・洗たく干し・接客											
サロン活動	ピアサポーター業務(接客・話し相手)											

施設外就労



(株)GRA ランナー取りの実習



(株)GRA いちごの箱折り作業



(一社)まちづくりやまもと
TSUNAMIハーレー館清掃作業



(福)静和会 みやま荘清掃作業



稱名寺 落ち葉掃き



(特非)みやぎセルブ 委託作業

ハッピーエコプラザ へのご協力、ありがとうございました！

2016年冬からお仕事をいただき4年余、フレスコキクチ山下駅前店で、店員さんや地域の資源物を持ってきてくださる皆さんに大変お世話になりながら、様々な交流を生き生きと働かせてもらいました。地域のたくさんの方と交流ができ、この作業の中で接客や対人マナーなど自然に自信をつけていくことができました。



エコプラザをスタートした時からずっとポラリスのメンバーとエコプラザに取り組んでくださった元スタッフの伊藤さん、活動最終日まで一緒に取り組んでくださり、ありがとうございました。お疲れ様でした！伊藤さんにここで作業や接客など教えていただき、メンバーは挨拶がとても上手になったと評判です！

これまでたいへんお世話になりました。
4年余 お仕事として 活動させて
いた フレスコキクチハッピーエコプラザですが
このたびのコロナ感染 拡大防止などの
事情で 3月末で 終了させて頂くこと
になりました。
地域のみなさまにご協力をいただき本当に
ありがとうございました。
NPO法人 ポラリス

アートワーク(ポラリス「こう・ふく」アトリエでの活動)



麵とごはんの店「見晴」 春・夏・秋・冬の作品展示 ～おいしい&ほっこり～



「1日限りの美術館」@ひだまりホール

アトリエで活動しているので、全て自分ごと。食い入るように集中して一つ一つの作品を鑑賞させていただきました。こんなに熱心に作品を見るってすごいなあ。



紙芝居制作で 「大條家ゆかりの茶室」を紹介

山元いっ茶組 × 山元ふるさと歴史学習会 × ポラリス

2021年3月31日 河北新報



紙芝居を掲げる関係者

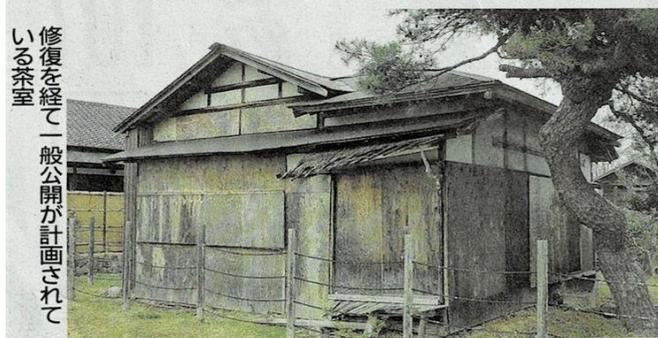
藩制時代の坂元城主大條家ゆかりの建築物で、山元町坂元地区にある町指定文化財の茶室「**2**」の価値を発信する住民グループ「山元いっ茶組」が、紙芝居を作った。仙台藩の茶文化を伝える遺産を子どもたちに学んでほしいと企画した。

紙芝居は、坂元地区に引越してきた親子が、大條家の歴代当主や「茶室さん」から茶室の概要や歴史を教えてもらう内容。

2 大條家ゆかりの茶室 木造平屋の約45平方メートルの書院風茶室。天保3（1832）年、大條家当主の道直が12代仙台藩主伊達斉邦から賜り、仙台城から城下の大條家に移った。1932年に現在地へ移設。東日本大震災で外壁や基礎が損壊した。町は修復し、2022年度一般公開を目指している。

藩制期の茶の湯 紙芝居で

大條氏茶室 大切さ知って



修復を経て一般公開が計画されている茶室

野だてや演奏会など現代の茶室の活用法を語り合う。「代々、大切にしてきた茶室。たくさんの方が集い、楽しんでほしい」と結ぶ。

2部構成計20分のうち、1部は茶室、2部は大條家に焦点を当てた。いっ茶組の発起人5人と町民約10人が絵画や脚本、声優などを担う。音楽は発起人の1人で、仙台市出身で米国在住の作曲家三浦寛也さんが手掛けた。

完成上映会が19日、山元町であり、関係者8人が観賞。同町の障害者就労支援NPO法人ポラリスの利用者で、絵を描いた宮部あゆみさん(43)は「脚本に合わせて場面を描き分けるのが大変だった。茶室は古めかしい感じを出すように工夫した。すてきに仕上がりに、うれしい」と喜んだ。

紙芝居を収めたCD-R150枚を製作し、町内の小中学校や幼稚園などに配る。インターネットでも公開する予定。

山元いっ茶組の担当者は「町の未来を担う子どもたちに茶室の大切さを理解してほしい。大人も含めて、手軽に学べるツールとして活用できる」と語る。

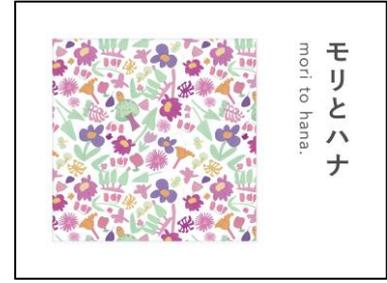
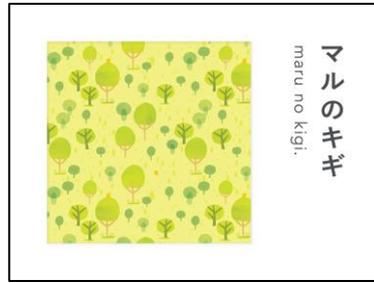
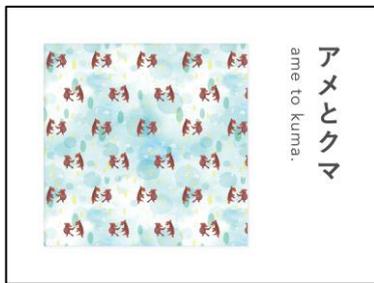
伊達政宗が豊臣秀吉から拝領したとの伝承がある大條家ゆかりの「茶室」は、仙台藩の茶の湯文化・歴史を伝える唯一残る茶室であり、町の人が誇りとして大切にしてきた町の文化財です。

そのことを広く、特に小中学生たちにわかりやすく伝える「紙芝居」制作プロジェクトに、アートの参加しました。メンバーが地域住民と協力して、すてきな絵の紙芝居が出来ました。

「マムギモリノナカ」3つのコンセプト 『アメがフリ』『キギがたち』『モリとハチがアソブ』の アートワークを担当しました



「人にも自然にも優しい暮らし」をコンセプトに商品づくりを行う、宮城県丸森町発のユニット「マムギモリノナカ」の新作ミツロウラップ。このアートワークを、隣町である山元町で活動する「ポラリス」のメンバーが担当させていただきました。共に2019年の大雨で被災した地域ですが、お互いの活動に共鳴し合い、手を取り合って。デザインやマーケティングのプロの協力も得ながら、コラボレーションが実現しました。



森のにおりが
がしますね。
いいですね。



マムギ
モリノナカ

【マムギモリノナカ】は、「人にも自然にも優しい暮らし」をコンセプトに、宮城県丸森町発のミツロウラップ【tsu tsu mi】を製造販売している女性ユニット
※ミツロウラップは、環境先進国オーストラリアで発祥、今世界中に広まっている「新しいラップ」

HUMORABO

【HUMORABO (ユーモラボ)】は、障害のある人が関わる商品を集めたショップ HUMORAのディレクションを担当している。福祉商品の企画・販売を通じてその魅力と課題を実感され、デザイン × 福祉のさらなる可能性を探る前川雄一(mu)と亜希子(ma)によるデザインユニット。ポラリスオリジナル商品づくりについてもそのコンセプトやデザインに協力。

#スタンド
バイ東北

#Stand by TOHOKU

【#スタンドバイ東北】は、東北スタンダードマーケットが出店する仙台PARCO&2と、地域応援クラウドファンディングサービス BOOSTERの協力のもと、東北スタンダードが主催するプロジェクト。

「ポラリスコーヒー」にメッセージをこめて



ペルーの世界遺産マチュピチュをさらに越えた先、ベロニカ山で採れた上質なコーヒー豆「モンターニャ・ベロニカ」をフェアトレードし、ポラリスのメンバーが一つ一つ豆の選別と焙煎をした香り高い自慢のコーヒーです。ペルーという国は生物多様性が世界一と言うことで、私が描いたパッケージの動物の生態を、ポラリスが重要視している人間の個性の多様性に例えたメッセージも込められています。パッケージで目、コーヒーで舌の両方から楽しめる他にはないコーヒーです。ぜひご賞味ください。

(パッケージのアートワーク担当: 大友浩一郎さん)

豆のピッキング～焙煎～ミル～ドリップパック 作業



コーヒートークの時間
コーヒー飲みながら「哲学のじかん」



地域の民生委員さんとの情報交換会
コーヒー班が大活躍。
民生委員の皆さんとポラリスコーヒーを通して、ほっとな交流が出来ました。

風の章ガーデンの植栽・手入れの仕事

(株)ひまわりケアシステムからの委託

令和2年度 宮城県「農福連携による工賃向上支援事業」
ガーデナー等専門家派遣による就労訓練(庭園管理及び植栽手入れ作業)



ポラリス手作りの看板



エルフの森の岩佐和子さんとハーブ園の手入れ



夏の日差しの強い日はテントの下で草取りしました

～アートな寄せ植えプランターを町に飾ろう～

「東北労金復興助成」



アトリエでアートなプランター制作



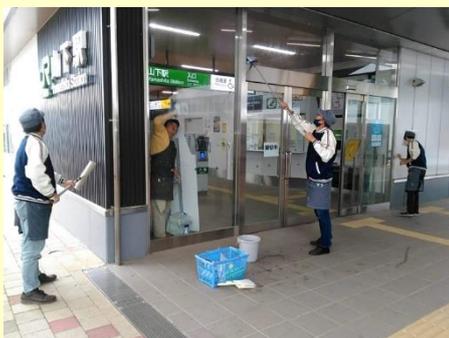
向井さんと一緒に寄せ植え



プランターを町の各施設に設置し定期的に入れ替えました

町をやさしく再生するピカピカ活動

「キリン地域の力応援助成」



JR山下駅の窓をピカピカにしました



壁画「happyやまのもと」のある広場をきれいに



ノンアルコールカクテルバーを楽しみました

2020年11月「ガーデンパーティ」をしました

園芸作業の後、メンバーのお母さんたちが作る芋煮とおにぎりの昼食と、バーテンダーでもあり園芸講師向井さんの「ノンアルコールカクテルバー」を楽しみました。キリンの飲み物を使って30種類以上のカクテルメニューを準備してくださり、どのカクテルにしようかとわくわくしてカクテルバーを楽しんでいました。コロナ禍にあり今期は自粛しながら過ごしている中、楽しい思い出となりました。ポラリスのメンバーもとてもうれしそうでしたが、カクテルバーは、いつもおうちの縁の下の力持ちであるお母さんたちがとっても楽しそうでした。

相談支援室ポラリス

1. 事業所名 相談支援室ポラリス
2. 事業開始年月日 2018年12月1日
 - 指定特定相談・指定障害児相談支援事業
 - 新地町障がい児者相談支援事業（2018年11月5日～）
3. 従業員数 管理者・相談支援専門員1名
相談員1名（専従1）

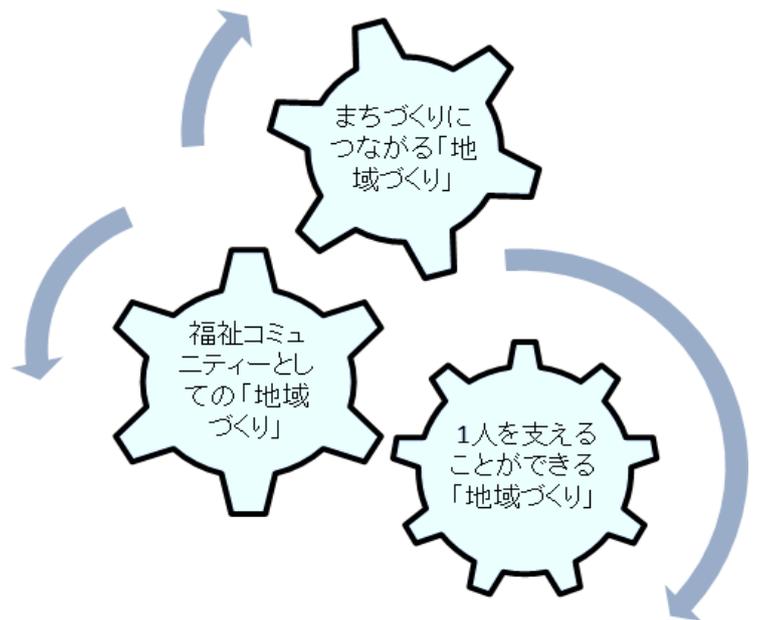


4. 主な取り組み

- ★相談援助についての専門知識と技術を習得し相談支援を担う専門スタッフ1名を育成しました。
- ★山元町及び新地町にて来所、電話、訪問、サロン等で、福祉サービスの利用に関する支援をはじめ、障害や病気の理解に関する支援、孤立による不安の解消などの相談支援を行いました。
- ★町内及び周辺地域のサービス事業所や関係機関との連携を深めて、地域の社会資源や専門機関を把握し、個々のニーズに沿ったケアマネジメントを行政と連携し進めました。
- ★「しんちまちこぐまサロン」を月2回、「やまもとこぐまサロン」を月1回開催し、当事者同士のピアサポート活動を取り入れながら、障害者やその家族が弱さやつらさをのりこえて力をつけるための居場所づくりをしました。

3つの「地域づくり」

- ① 1人を支えることができる「地域づくり」
近隣のソーシャルサポートネットワーク
見守り、生活支援、居場所づくり
- ② 福祉コミュニティとしての「地域づくり」
福祉関係者のネットワーク
対人援助の他職種連携
- ③ まちづくりにつながる「地域づくり」
地域の産業や文化、地方創生との連携
福祉分野以外との連携と基盤構築



ご本人と保護者のニーズに柔軟に対応することができるよう、個別、福祉コミュニティ、地域づくりの視点で地域生活支援を進めています。

令和2年度新地町障がい児者相談支援事業(委託事業)

(実施期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日)

個別相談援助

新地町 障がい児者 相談支援事業

福祉サービスの利用
必要な福祉サービスが使えるようにお手伝いします

障がいや病気について
体調に関するお困りごとについての相談をお受けします

障がい児相談
早期にリハビリやトレーニングなどが必要な場合は、専門の施設やサービスをご案内します。

【実施主体・業務委託】
特定非営利活動法人ポラリス
相談支援室ポラリス
宮城県亘理郡山元町合戦原 72-64 (宮城秀陵向かい)
ホームページ: polaris-yamamoto.com

相談は無料です
まずはお電話
ください

TEL:0223-36-7413
相談受付: 月～金 9:00-16:30
(祝日・12/29～1/3 除く)

【主催】 新地町 健康福祉課 (0244-62-2931)

「しんちまち こぐまサロン」

個別相談

こんなことはありませんか？

- 1人で悩んでいる
- 子どものことが心配だが誰にも言えない
- 体調について相談したい
- 同じ悩みを抱えた人と話したい
- 書類の書き方や申請について知りたい
- 福祉サービスの利用の仕方を教えてほしい

集いの場

自宅から一歩出て気分転換しましょう
アート活動など、楽しいことができます

お絵描き・刺しゅう
軽運動(エクササイズ)
おしゃべり
などなど…

町内外の様々な人・団体との連携

(新地町)

- ◆スクールソーシャルワーカー、学校、保育所、保健師、社会福祉協議会、その他関係機関や協力者と連携し、個別相談支援に取り組みました。
- ◆新たな事業所開設に取り組む団体から設立についての助言を行いました。

(相馬地区)

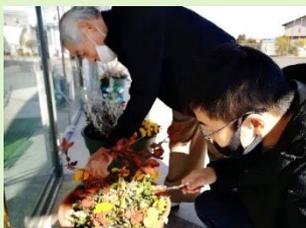
- ◆相馬地方基幹相談支援センター拓との勉強会を月1回実施し相談支援についての意識とスキルアップに取り組みました。
- ◆障がい者サービス事業所、相談支援事業所、保健福祉事務所等の関係機関との連携し、必要なサービス資源を利用できるよう支援会議実施と連絡調整を行いました。



手話のワークショップ

「障害福祉」についての理解を広める機会づくり

- ◆民生委員児童委員の定例会にて、現状や課題についてお伝えしました。
- ◆ポラリスメンバーによるコーヒーサービスと自己紹介をすることができました。
- ◆新地町保健センターに「アートな園芸プランター」を設置し、サロン参加者と水やりや手入れをしました



園芸ワークショップ



園芸ワークショップ



民生委員児童委員 定例会での交流

令和2年度山元町障害者地域生活支援体制事業(委託事業)

(実施期間:令和2年5月1日～令和3年3月31日)

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域で暮らす障害者等の居住支援のための機能(相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・育成、地域の体制づくり)を、法人や事業所の枠を超えて連携し、地域全体で支えるサービス提供体制をつくることを目標に、山元町障害者地域活動支援センターやすらぎ(委託相談支援事業所、障害者地域協議会運営事務局)と「地域生活支援拠点面的整備プロジェクトチーム」をつくり、共に地域づくりについてコーディネートを行いました。

地域生活支援体制作り業務

- ①高齢化・重度化による緊急対応を予防する支援を行いました。
- ②地域協議会部会の企画に参加しました。
- ③法人・事業所の枠を超えた連携を目的とした情報交換を行いました。

◆訪問による情報交換

山元町社会福祉協議会、静和園、山元町教育委員会(SSW)、山元支援学校、亘理山元商工会、山元町こどもセンター、(株)ごえん、(株)GRA、

◆来所による意見交換・情報交換

(相談支援)亘理ありのまま舎、ハンズ太白、J'sサポート、ともケア

TMあい、地域生活支援センターぱれっと(県社協)、

(学校・大学)東北福祉大学産業福祉マネジメント学科、亘理郡内教職員

(団体)宮城県手をつなぐ育成会、宮城県障がい者福祉協会、

山元町民生委員、NPO法人エイブル・アート・ジャパン

(国) 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・

安全課 障害者学習支援推進室



専門スタッフ同士の勉強会

専門的人材育成業務

- ①意識やスキル向上を目指す研修
- ②制度・専門業務についての勉強会
- ③職員同士の情報交換

障害者福祉に関する理解促進研修、啓発事業業務

- ①権利擁護、差別解消に関する理解促進、啓発
- ②当事者の体験発表による理解促進
- ③文化・芸術活動による理解促進
- ④地域共生社会づくりについての理解促進、啓発



当事者体験発表

定期相談会・サロンの企画実施業務

- ①定期相談会の開催
- ②集いの場(サロン活動)の企画実施
- ③ピアサポーター育成の企画実施
- ④保護者のピアサポート活動
- ⑤障害者の差別解消、地域生活支援等の理解を広げるサロン活動



傾聴を学ぶ保護者カフェ



みんなで すんぷちよ音頭山元バージョン



音楽の力「うたのじかん」

JCB「5」のつく日。JCBで復興支援（フィランソロピーバンク）

「障害福祉のエンパワメントを進めるプロジェクト」

被災をはじめとした様々な地域情勢でますます生活しづらくなっている障害者の地域生活の質を高めるために、当事者、家族、専門スタッフ、その他協力者等が、それぞれに力をつけていくための有意義な活動を企画し取り組みました。

- ①地域で暮らす障害者や家族の自己肯定力や自己有用観を育む「クラブ活動」「お出かけ」「ピアサポーター活動」の機会をつくりました。
- ②専門スタッフを育成するための経験や研修の機会をつくりました。
- ③地域の様々な立場の人と交流をして、そのプロセスで障害福祉について理解や共感を広げ、障害福祉への継続した協力体制を築き、インフォーマルなマンパワー（表現活動・生涯学習・ICT教育・保護者支援（傾聴）・スタッフ指導 への協力者）を増やすことができました。

クラブ活動の実施



リフレッシュ
倶楽部

スタッフ研修



酒田市文化芸術推進プロジェクト
「サカタアートマルシェ2020
祈りと希望～アートから祈りを～」視察



特定非営利活動法人
With優 視察

弘前市津軽地域精神
障害者社会復帰支援
連絡会（つがるねっと）
視察

- ◆専門スタッフの経験や研修の機会を作りました。
- ◆専門スタッフの心身のリフレッシュにつながりました。
- ◆専門スタッフ同士のチームワークの向上につながりました。
- ◆他の団体の活動を視察し、視野を広げ意識の向上に役立ちました。

貸切バスでの移動研修



大型バスを借りて、コロナ感染対策を徹底し
楽しく親睦を図る機会をつくりました。

◆交通弱者である障害者が、コロナ禍でさらに外出が制限される中で、バスによる移動研修を実施することができました。参加者全員が「とても楽しかった」という感想でした。



◆地域の中で就労訓練して培っている社会スキルが活かされ、マナーを守り思いやりを持って食事や鑑賞できました。またその姿を保護者が見て、とてもうれしそうでした。

◆年末の行事となり、「今年1年頑張った自分にご褒美をもらったようです」と参加者の多くがとても良い研修の時間となったようです。

◆世界的にコロナウイルスの収束が見えない中、感染予防にしっかり取り組むことで、このような不安定な情勢だからこそ実施する意義があったと感じました。



◆将来のグループホームや一人暮らしについて具体的なイメージを持てる機会となりました。

「山元町と新地町の障害福祉エンパワメント促進事業」

当団体がこの地域で持続可能に障害者支援にフォーカスしたNPO活動をすすめていくための組織基盤強化を目指し、介護、ICT、傾聴、障害福祉、哲学、アートなどの専門家の協力を得て、専門スタッフ、当事者、家族、地域住民等がそれぞれの立場で障害福祉に関わる様々な学びや経験の場を作る事を試みました。そのプロセスでそれぞれが力をつけ、地域に障害福祉をエンパワメントする事につなげることができました。

- ◆専門スタッフのスキルアップ
- ◆障害のある当事者や家族が力をつけていく支援
- ◆障害福祉を担う人を発掘し育成する



障害者の高齢化・重度化への対応するケア力強化



専門スタッフのスキルアップ



業務効率化のためのクラウドサービス導入とスキル習得



自分の考えを発表する時間



グループワーク



「発達特性を理解する勉強会」



「哲学(生き方を考えあう)」の時間



地域でのピカピカ活動



「お金の管理・使い方について話し合おう」

新しい生活様式に向けた ICT機器整備

- ①職員の業務の軽減化を進め、直接支援の時間の確保と支援の質の向上に役立っています。
- ②情報弱者となりがちな障害者がICTを身近なものとし、これからの障害者の働き方の可能性や多様性を創造することに役立っています。その環境を作り、障害者の自己肯定感や自己有用感を向上させエンパワメントにつなげていきます。
- ③新型コロナ感染予防の支援様式の定着や災害時の避難時に対応可能な個別支援と地域への情報発信の方法を整備します。また、地域づくりに役立っています。



職員の記録業務のためのPCとクラウドサービスの導入

個別支援計画書、工賃支給の計算、毎日の支援記録、月末の請求事務などの業務を効率化し、スタッフ同士のタイムリーな情報共有が可能になりました。ペーパーレス化も定着しつつあります。



ipadを使って、利用者自身が出退勤チェックする

当事者のICT活用によるエンパワメント(当事者の簡単な報告や作業についてICTに触れる機会を増やすことができました)

特に就労訓練の継続が難しい発達障害のある利用者について、ICT活用による自己肯定感を育み、入力情報や支援情報についてタイムリーに事業所内でモニターを使い可視化することで、理解しやすく楽しみを持って取り組めるように支援ができるようになりました。



スマートフォンを導入し、オンラインを活用した個別支援、グループワーク、コミュニティワークを可能にする

新たなソーシャルインクルージョンの進め方として「いかに多くの人が集まるか」から「いかに多くの人に情報発信するか」への転換を目指します。

ICT活用で新たにオンラインと言う方法で個別相談が可能になりました。在宅でのサービス支援にもオンライン面談が可能になりました。

災害や感染症拡大などの緊急時にも支援を可能にし、当事者が安心することにつなげていきます。



【ICT機器整備について、ハード面とソフト面で進めるための支援】

- * 令和2年度補正予算 障害福祉分野のICT導入計画事業
- * 日本NPOセンター 東日本大震災復興基金
- * 霊友会「ありがとうこだま基金」

中高生による チャリティームービープロジェクト

(日本フィランソपी協会主催)

たくさんのご支援をありがとうございました。

中高生が主役となり、
コロナ禍で奮闘するNPO
の動画を制作、寄付を集め
応援するプロジェクト

全国から応募した中学生・高校生が

- ①5つの中から選んだ1つのNPO活動をオンラインで学ぶ
- ②その活動の大切さを伝える動画を制作する
- ③制作した動画をSNS等を通じて発信・PRL一般の人々に寄付を呼びかける
- ④集まったお金をNPOに届ける

本プロジェクトを通じて、学生、NPO、企業人と多世代間協働によるSDGs推進と、世代・立場を超えた信頼を軸にしたコミュニケーション力の醸成を目指しています。

参加者

中学生・高校生70名(参加地域:宮城県、福島県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、大阪府、広島県、福岡県、マレーシア)

外部アドバイザー1名、企業ボランティア7名、学生サポーター4名

★全国の4チームとNPO活動やポラリスの取り組みについてお話しする機会をいただきました。

チーム:Joe(広島県)
「地域のNPO、ポラリス。新たな時代へ！」

チーム:shodo(東京都)
「アートで笑顔を広げよう！」

チーム:カカオ72%(宮城県)
「地元からエール☆地域を笑顔にするポラリス」

チーム:ふあいていん(神奈川県)
「ポラリス&ふあいていん」

寄付金の使いみち

障がいのある方のアートを活かした「アートな屋台」づくりのためのリヤカー屋台購入費

全国からのご寄付は、最終的に674,804円となりました。心より感謝を申し上げます。

新年度には、地域の動くコミュニティ「屋台ポラリス」を園芸講師の向井さんはじめ、地域の協力者に製作協力をいただきながら進めてまいります。屋台ポラリスが完成したら、いろんなコミュニティ活動をしたくてわくわくしています。屋台を見かけたら気軽に参加してほしいです。



「福島県沖を震源とする地震」 被災した建物改修 経過報告

東日本大震災から10年後の2021年2月13日23時7分頃、福島県沖を震源としたマグニチュード7.3の地震が起きました。宮城県山元町は震度6弱を観測し、NPO法人ポラリスの活動拠点施設は、建物に大きな被害を受けました。



地震で事務所・作業場を兼ねた本棟の外壁・内壁に無数の亀裂が生じ、ドアが開かなくなったほか、デスクトップPCなどの備品が壊れました。翌14日の日曜日に職員が総出で滅茶苦茶になった室内を片付け、外壁にテープを貼って応急処置をしたうえで、週明けに活動を再開しました。

被災直後から、様々なご支援をいただき、おかげさまで活動を継続することができております。



今回の大地震で建物の損傷が激しい状態に加え、今も余震が度々あり、再び強い揺れがあると建物自体が使えなくなる恐れがあります。このため早急に改修工事を実施し、どんな状況の時も障害者の居場所として機能できるようにしたいと考えています。



AAR Japan
被災状況を視察に来られ
全国に支援を呼び掛けてくださっています。

全国の支援者の皆様から届いたご厚意に心からお礼申し上げます。ポラリスのた建物を修繕・強化するために大切に使用させていただきます。



東京零環創生ライオンズクラブ 屋代誠一さん(一級建築士)から耐震を強化するための改修についてアドバイスをいただいております



地元工務店の力をお貸りして進めています

東京零環ライオンズクラブ 屋代誠一さん(一級建築士)がボランティアで耐震強化の改修方法を指導、さらに地元工務店の力をお貸りし、具体的な改修工事について計画中です。改修工事は2021年度4月以降、本格的に進めてまいります。改修が完了しましたら、あらためて皆様にご報告いたします。

活動の紹介

7月14日	復興庁	復興庁「新しい東北」事例集 ～地域課題解決に向けた挑戦 (令和元年度「新しい東北」復興・創成顕彰 受賞者の取り組み)
5月7日	サステナブル・ビジネス・マガジン 「オルタナ」	JCB復興支援、「障がい福祉」の新たなモデルづくり
6月30日	桜美林大学リベラルアーツ学群2年生	社会福祉士を目指す学生からのポラリスの活動のヒヤリング
8月18日	日本フィランソロピー協会 & 「中高生によるチャリティムービープロジェクト」 に参加する全国の中高生	ポラリスのNPO活動についての紹介
8月28日	東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科 (准教授 森明人先生)	リモート講義での事例報告 「NPO法人ポラリス 障害のある人と描く 地域の再生」
9月24日	宮城県サポートセンター支援事務所	東日本大震災 宮城県民100の提言 ～ともに生きる想いを紡ぐ言霊～ (掲載)
10月14日	日本ユニセフ協会代表理事・副会長 高須幸雄さん 同志社大学教授 峯 陽一さん ウィメンズアイ 代表理事 石本めぐみさん	SDGs 指標づくりプロジェクトの現地ヒヤリング (山元町とポラリスの取り組みについて)
12月1日	文部科学省総合教育政策局男女共同参画 共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室	山元町及びポラリスの生涯学習の活動(場所) についての視察
12月6日	宮城教育大学教育学部4年生	テーマ: 障害者の文化芸術活動推進に関する現状と課題 「発表の場」との関連性 (活動紹介)
12月9日	東海大学健康学部 講師 市川亨子先生 竹内友章先生	「被災地域におけるボランティアの関与とレジリエンスに 関する研究」についてのヒヤリング
3月3日	宮城県社会福祉課	第4期宮城県地域福祉支援計画 地域事例集 (活動紹介)
3月5日	杜の伝言板ゆるる	令和2年度 宮城県絆力(情報発信)事業 宮城県NPO等の絆力を生かした震災復興支援事業 ～3.11から10年 これからの地域での活動ありかた (成果報告書)



「新しい東北」復興・創生顕彰2019

第7弾 アートの力が支える障害者福祉の充実と地域づくり

投稿日:2020年10月28日



JR常磐線、山下駅前にあるスーパーの壁面に高さ2メートル、幅30メートルの壁画が描かれている。「Happy やまのもと」と題し、合戦原遺跡の線刻画や特産のイチゴなど、山元町の風土や歴史、文化をモチーフにしたアート作品である。

壁画を手掛けたのは、山元町で障害者の就労継続支援などを行う特定非営利活動法人 ポラリス。設立から2カ月後にスーパーの経営者の依頼を受け、障害者の芸術活動支援を行う団体や京都のデザイナーなどの協力で1年かけて完成させた。

制作には、障害者のほか、地元の支援学校や中学校の美術部の生徒、イチゴ農家やNPO法人の若者など地域住民も参加した。ポラリスで代表理事を務める田口ひろみさんは、「地域の皆さんとアート制作に取り組んだことで、障害者でも地域に貢献できることを山元町の人たちに知っていただくことができました」と話した。

障害者も地域の担い手になれることを実感

田口さんは、震災前から山元町で社会福祉協議会職員として障害者福祉に関わってきた。震災発生後は、精神保健福祉士の資格を生かし、避難所や自宅、親類宅で身を寄せる障害者や心のケアが必要な人たちを見守る支援などを行った。

「活動を通して出会ったのが、障害者アートでした」と話す田口さん。全国で活躍する障害者アーティストの支援により、障害者のアート作品を活用した仕事の創出につなげることができたという。障害も力をつければ、地域を助ける側にもなれる—と、アートの力に可能性を感じた田口さんは、2015年にポラリスを設立し、障害者支援と地域づくりに動き出した。

ポラリスの取組の一つに、精神・知的・発達に障害のある人の就労継続支援がある。山元町内外の企業や団体の協力のもと、復興したイチゴハウスの清掃やイチゴの箱詰め作業、スーパーでの資源物回収などの仕事を行っている。



アートの仕事では、近所の空き家を活用したアトリエハウスを拠点に、企業・団体の依頼を受け展示用のアート作品やリーフレット用のイラスト、キッチンカーに描くアート制作などを行った。「障害のある人たちが自分も地域の担い手となることを経験したことで、障害者やご家族にとって、自己肯定感の醸成や前向きに生きる力につながっています」と田口さんは、手応えを感じていた。

全国の障害者福祉のモデルにつながればうれしい

今回「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞したことについて、「被災地の障害者支援と地域づくりの小さな成果をコツコツと積み上げてきた私たちの取組が、地域の復興に貢献していると評価していただいたことはとても光栄なことです」と田口さんは笑顔で話す。

「受賞は共に活動する障害のある人たちも喜んでいきます」と田口さんは続けた。障害者の家族や支援するボランティアをはじめ、活動を応援する企業・団体の関係者とも「共に喜び合いたいと思います」と語った。

地域で暮らす人たちの素敵な生き方や働き方の「道しるべ」となる団体を目指し、北極星 (polaris) から命名したポラリス。「顕彰がきっかけとなり、障害者福祉活動を始めたい全国の人たちにとっても私たちの取組が『道しるべ』になることができたらうれしいです」と田口さんは話した。

特定非営利活動法人ポラリス [宮城県山元町]

<http://polaris-yamamoto.com/>

応援ありがとう

(特非)アートワークショップすんぷちよ (特非)あさがお 朝日山荘厳院 稱名寺 (同)あまね舎 (福)ありのまま舎
(特非)難民を助ける会 石田秀男税理士事務所 (特非)ウィメンズアイ (特非)エイブル・アート・ジャパン
エルフの森 (特非)with優 (公財)音楽の力による復興センター・東北 ガーデン工房 結-YUI- (株)河北新報社
お弁当 きく邑 木村工事(株) (公財)キリン福祉財団 来栖珈琲 (大)神戸大学 こげら合唱団
Connect Feelings (株)佐善工務店 (一社)さんらいず (株)GRA (特非)GRA (株)ジェーシービー
(特非)市民社会創造ファンド 旬魚酒房 金八 (特非)障がい児・者の学びを保障する会 新地スマートエナジー(株)
新地町 (福)新地町社会福祉協議会 新地町民生児童委員協議会 (特非)スウィング (株)菅原工務店
(有)鈴や (一社)スマイルファクトリー (一社)生命保険協会 宮城県協会 (福)静和会 (学)聖和学園 静和短
期大学 全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ) (株)仙南測量設計 仙南ベニヤ(株) 仙台オペラ協会
(特非)せんだい・みやぎNPOセンター 曹洞宗 光明山 徳本寺 曹洞宗 龍頭山 鳳仙寺 (公財)大和証券福祉財団
(医)多布施クリニック (財)たんぼぼの家 (特非)地星社 (株)つがるねっと ドイツ語婦人会 (学)東海大学
東京零環ライオンズクラブ 東北スタンダード (学)東北福祉大学 東北労働金庫 (株)ナルケ自動車
(特非)日本NPOセンター (公社)日本フィランソロピー協会 (公財)日本ユニセフ協会 (公財)日本YMCA同盟、
(有)ぬか茂菓子店 (株)福祉新聞社 復興庁 バーCozy 花の会 花の店しなほり (株)VISIT東北
(株)ひまわりケアシステムPMJ歯科 (特非)100年福祉会 片山工房 (株)福祉新聞社 フレスコ(株)
社会保険労務士法人プロゲート (福)房香会、(有)まゑむき (株)マックス設計 (医)松村クリニック
(一社)まちづくりやまもと マテムギモリノナカ みやぎNPOプラザ 宮城県 (福)宮城県社会福祉協議会
(一社)宮城県手をつなぐ育成会 (公社)みやぎ心のケアセンター (特非)みやぎセルブ協働受注センター
(特非)麦の会 こっぺ 明治製菓ホールディングス(株) 麺とごはんの店 見晴 (特非)杜の伝言板ゆるる
八重垣神社 森の中の小さな古本屋「スローバックス」 (有)安田工務店 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら
山元町 山元町教育委員会 山元町傾聴ボランティアの会 (福)山元町社会福祉協議会 山元ふるさと学習会
山元町文化協会 山元いっ茶組 HUMORABO (株)夢デザイン総合研究所 (福)横浜市社会福祉協議会
横浜市障害者地域作業所連絡会 ライオン運輸(株) 霊友会「ありがとうこだま基金」 亘理山元商工会

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。 本当にありがとうございました。



1. 会議等の業務

(1) 第6回通常総会の開催

◎日時: 2020年6月6日(土) 10:00~12:00

- 2019年度事業報告(案)・活動計算書(案)の承認
- 2020年度事業計画(案)・活動予算書(案)の報告

(2) 理事会の開催

◎日時: 2020年5月28日(木) 9:00~11:00

- 2019年度事業報告(案)・活動計算書(案)の承認
- 2020年度事業計画(案)・活動予算書(案)の承認

◎日時: 2021年2月9日(火) 17:30~19:30

- 文部科学省 令和3年度「地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進」事業への応募についての承認

◎日時: 2021年2月25日(木) 17:30~19:00

- 新たな職員募集についての承認
- 福島県沖を震源とする地震で損壊した建物修繕についての承認

◎日時: 2021年3月19日(金) 18:00~19:00

- 新たな職員採用(常勤1, パート1)採用についての承認

(3) 監査

日時: 2020年6月1日(月) 15:00~17:00

- 2019年度事業報告(案)の監査、承認
- 2019年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の監査、承認

2. 会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続、休会に伴う業務
- 2019年度事業報告・活動計算書及び2020年度事業計画・活動予算書の送付
- 「福島県沖を震源とする地震による建物修繕&耐震強化のためのカンパのお願い」文書の送付
- その他事業の案内や報告の資料の送付

3. 経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にした。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を行った。
- 石田秀男税理士事務所に税務その他について業務を委託した。

4. 労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係の手続きに関する書類作成・届出、法改正などの業務について、社会保険労務士法人プロゲートに委託し、あわせて助成金に関する情報提供をうけた。

5. 総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務を行った。
- NPO法人としての宮城県への2020年度事業報告・活動計算書を提出した。

6. 広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動を行った。
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行った。

[組織概要]

設立年月日	2015年5月14日
代表理事	田口 ひろみ
理事	品堀 学 佐藤 路代
監事	大山徳江
会員数	正会員 12名 一般会員92名、2団体 (2021年3月31日現在)
住所	〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原72番地
64	
TEL/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com
WEB	http://polaris-yamamoto.com

ポラリスを応援していただける方を募集しています。

◎一般会員になって継続的に応援する

ポラリスでは、事業活動に継続的に賛同くださり、会費という形を通じてサポートして下さる一般会員を募集しています。会費を納入していただいた皆様には、ポラリスの活動がわかる広報誌やお知らせ、報告、オリジナルグッズを送らせていただきます。

一般会員／年会費 1口 3,000円

◎寄付で応援する

ポラリスでは地域コミュニティの場づくりとして、様々な活動をおこなっております。それら多くの活動では、皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。私たちの活動をぜひとも応援してください。

お問い合わせはこちらまで

会員、寄付に関するお問い合わせ、お申し込みにつきましては事務局までご連絡ください。

TEL/FAX 0223-36-7410

Mail: koguma@polaris-yamamoto.com

